

# 平成22年 教育委員会第16回定例会 会議録

日 時 平成22年9月28日（火） 午後3時00分～午後3時52分  
場 所 教育委員会室

## 議事日程

### 第 1 報告

#### 【子ども総務課】

(1) 第3回区議会定例会報告

#### 【子ども施設課】

(1) 淡路町二丁目西部地区第一種市街地再開発事業南街区施設

#### 【子ども支援課】

(1) 病後児保育のご案内

(2) 幼児教育のあり方検討会報告書 ー最終のまとめー

#### 【指導課】

(1) 全国学力・学習状況調査、区達成度調査の結果【秘密会】

### 第 2 その他

#### 【子ども総務課】

(1) 孺恋自然体験交流教室の視察日程

出席委員 (5名)

教育委員長	市川 正
教育委員長職務代理者	古川 紀子
教育委員	福澤 武
教育委員	中川 典子
教育長	山崎 芳明

出席職員 (8名)

子ども・教育部長	立川 資久
次世代育成担当部長	保科 彰吾
子ども総務課長	坂田 融朗
子ども施設課長	佐藤 尚久
子ども支援課長	眞家 文夫
児童・家庭支援センター所長	峯岸 邦夫
学務課長	門口 昌史
指導課長	坂 光司

欠席職員 (1名)

参事(子ども健康担当)	清古 愛弓
-------------	-------

書記（2名）

総務係長	小宮 三雄
総務係員	成畑 晴代

- 市川委員長 | それでは、開会に先立ちまして、本日、傍聴者の申請はありませんが、後ほど傍聴者から申請があった場合は、傍聴を許可することとしますので、あらかじめご了承ください。
- それでは、ただいまから平成22年教育委員会第16回定例会を開会します。
- 本日、清古参事は欠席でございます。
- なお、佐藤子ども施設課長は、公務のために途中退席をする予定でございますので、ご了承をいただきたいと存じます。
- それから、今回の署名委員は、福澤委員にお願い申し上げます。
- それでは、本日の議事日程はお配りしてあるとおりでございますけれども、第1、報告、指導課の部分ですね、全国学力・学習状況調査、区達成度調査の結果は、政策形成過程であるために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第13条第6項、ただし書きの規定に基づきまして、非公開といたしたいと思っておりますが、その可否を求めます。
- 賛成の方は挙手を願います。
- （賛成者挙手）
- 市川委員長 | 全員賛成でございますので、それでは、非公開といたします。
- この件につきましては、非公開となりましたので、議事日程の最後に、関係者以外退席して行いたいと思っておりますので、よろしく願いをいたします。

## ◎日程第1 報告

### 子ども総務課

#### （1）第3回区議会定例会報告

### 子ども施設課

#### （1）淡路町二丁目西部地区第一種市街地再開発事業南街区施設

### 子ども支援課

#### （1）病後児保育のご案内

#### （2）幼児教育のあり方検討会報告書 ―最終のまとめ―

- 市川委員長 | それでは、報告、第1に入ります。
- 初めに、子ども総務課長からお願いします。
- 子ども総務課長 | それでは、第3回区議会定例会、ただいま開催中でございますが、定例会における本会議場での各議員からの質問そして答弁でございます。
- お手元に、その教育委員会関係分を配付させていただいております。
- まずは、概略を申し上げますと、幼稚園教育のあり方ということで、幼稚園児減少の中で、小学校の8校体制を堅持できるのかというようなご質問で

ございます。区としましては、8校体制を堅持していく方向で工夫をしていくと答弁をしております。

それと、2ページ目になりますが、共産党のほうから、介護保険制度をモデルとする新保育システムについての評価についてのご質問がございました。これにつきましては、今、鋭意、国のほうで検討中だと、その動向を注視してまいりたいということでございます。

次に、3ページになりますが、子ども・教育施策で、次世代育成支援の拡充ということで、医療費助成の高校生相当年齢までを引き上げたらどうかというご提案がございました。その方向で考えたいという区長の答弁もございました。

それと、小学校1年生の「小1プロブレム」の問題がございました。これは幼稚園から小学校、集団生活になじむような形でいろんな工夫をしておりますということでございます。

そして、4ページになりますが、教育施設の整備についてというご質問で、とりわけ九段小学校、震災復興の小学校として、1つの時代を画する文化的な価値のある小学校だと。その保存、改修、その方向性を問うということでございました。保存ということも含めて検討してまいりたいということでございます。

この九段小学校につきましては、教育委員の皆様方にも、今後、具体の議論になってくるかと思っておりますので、ご視察いただいて、ひとつ感想を述べていただきたいなというふうに思っております。それは今後の話ということでございます。

そして、次は熱中症の予防対策ということで、これは今般の夏の酷暑の中、教育委員会としてどう対処してきたのかということでございますが、適切に、各園・校、その他の施設で対応してまいりましたということでございます。

あと、5ページ、飯島議員、共産党からの質問でございますが、教員の多忙化解消と少人数学級ということで、教員の多忙化、とりわけ心的なストレスにつきましては、教員の人事考課制度、これが影響しているんじゃないかというような問いでございました。もちろん心的ストレスには多様な要因があるということと、人事考課制度がそのまま心的ストレスにつながっているという傾向は見られないというような答弁をしておりますし、少人数学級につきましては、今、政府のほうから1つの方針が出てこようとしておりますので、それを注視しながら区としても対応していくということでございます。

以上が概要でございます。

説明は以上でございます。

何かご発言がありましたら、お願いをいたします。よろしゅうございますか。

(「なし」の声あり)

市川委員長

市川委員長  
子ども施設課長

それでは、次に移ります。次は、子ども施設課長から報告を願います。

子ども施設課から報告させていただきます。

淡路町二丁目西部地区再開発の公共施設についてでございます。資料として、A3の横の平面図。その下に参考として、保健福祉部の、この施設についての表裏の資料をつけさせていただいております。

淡路町二丁目の再開発ですけれども、旧淡路小学校があった淡路広場で、神田保育園がそこに建っております。その部分について大規模な再開発が行われておりまして、行く行くはそこに神田保育園を含めた公共施設を建設するというようになっております。

まず、1枚めくっていただきまして、参考としてつけさせていただいた資料です。ここの再開発の区の建物ですけれども、神田保育園と一緒に、6・7・8階に高齢者施設ということで、合築で建てる施設でございます。ここの保健福祉部の資料は、9月21日の議会の常任委員会の出したものを付けておりますけれども、7・8階が短期入所生活介護サービス、いわゆるショートステイです。6階は通所介護サービス、ここはデイサービス施設となっております。裏には、その6・7・8階部分の平面図がついておりますので、こちらは参考にごらんになっていただければと思います。

そして、表面のA3の横の色刷りの平面図でございますけれども、これにつきましては、保育園の平面図ということで、今年2月の教育委員会にご報告させていただきました。この機会を頂戴いたしまして、その後、検討を進めていく中で、若干の変更というものがございましたので、その部分について説明させていただきます。

まず、A3の右下、2階平面図というふうになっております。ここには1才児室、2才児室を配置しておりますけれども——グリーンの、トイレですね、「便所」というふうに書かれている部分がありますけれども、当初、2月に説明したときは、各才児の部屋の両わきにあったんですが、これを真ん中の、子どもたちを親が保育士に受け渡すコーナーというのがありますけれども、その近くにトイレを配置しました。これは送ってくる保護者の方が子どもたちをトイレに連れていくという場合を想定して、近いほうがいいだろうということで、受け渡しコーナーのすぐお隣にトイレを配置したものでございます。

その上、3階と4階がございますけれども、ここの単純なレイアウトとしては、2月のご報告と、3階と4階部分を入れかえさせていただきました。当初は3階で3才児と4才児、同じフロアに配置していたんですけれども、現場の保育士などと支援課と協議していく中で、子どもの発達段階等を考えますと、4才児と5才児が同じフロアにいたほうが子どもたちのためにも、また保育のしやすさの観点からもベターであるということで、ここを入れかえまして、4階部分に4才児と5才児、同じフロアに配置したということでございます。主な変更点は以上でございます。

説明は以上です。

市川委員長 説明が終わりましたけれども、何かご発言がありましたら、お願いをいたします。

中川委員 子どもの施設課長 この5階の調理室というのは、全館共通のということですか。

古川委員 保育園の給食と、6・7・8階の高齢者施設の調理、共用で利用して調理を行うということになっております。

子どもの施設課長 今、3才児のお部屋と4才児のお部屋を分けたということなんですけど、変えたきっかけが、保育士の方と話し合いがあったと言われたんですが、神田保育園の保育士さんと具体的な打ち合わせを、設計図ができ上がった後もされているような状況なんですか。設計図ができた後も、現場の方と話ができる機会が設けられているというのは良いことだなと思ったんですが。

古川委員 2月に教育委員会にご説明をして、保護者説明会も行いました。その中で、今、神田保育園の仮園舎というのが、神田消防署の跡に建っているんですけども、そこが複層化して、上に高い保育園になっています。そういった経験ですとか、あと、細部については、保育士さんの意見をなるべく取り上げてほしいというような保護者の方の意見もありましたので、高齢者施設、平面計画をいろいろ決めた後に、これからまた細かい詳細設計に入ります。その、ちょっと合間を利用して、さらによく、何十年も使う建物なので、なるべく使いやすいほうがいいだろうということで、可能な限り意見をお聞きして、反映できるところは反映したということです。

古川委員 詳細設計についても、よりパース図というか、視覚で見られるような資料もできてきますので、その安全性ですとか、そういう観点からも、またいろんな提案があれば、よいものは取り上げていくというような気持ちでやっております。

子どもの施設課長 保育士の方と、工事の進行に沿って、そういう機会を持たれているということですか。

市川委員長 そのとおりでございます。

中川委員 よろしゅうございますか。

子どもの施設課長 もう一つ、高齢者施設とそれから保育園というのが一緒になった建物なんですけど、5階を境に分断されちゃっている形でしょうか。

市川委員長 セキュリティーのところがありますので、分断しないといけないところはするんですけども、エレベーターでつながっておりますので、保育園児とお年寄りの方の交流というようなコンセプトもございますので、そこは行き来できるような手段を整えております。

市川委員長 ほかにいかがでしょうか。よろしゅうございますか。  
(「なし」の声あり)

市川委員長 それでは、次に移りたいと思います。

子どもの支援課長 次は、子ども支援課長からですね。お願いします。

市川委員長 子ども支援課のほうから、まず1点目、病後児保育のご案内ということについてご説明させていただきます。

子どもの支援課長 これまで、一番町のポピンズナーサリースクール一番町、認証保育所にな

ります、こちらで定員3名の病後児保育を実施してきたところですが、本年10月1日より、ふじみこども園のほうで同様の病後児保育を行うこととなりましたので、ご案内をさせていただきました。

ふじみこども園の定員については、2名ということで行っていただく予定でおります。

利用料につきましては、お子さん1人につき、1日2,000円、お昼代の300円とおやつ代の100円が別途ということになっております。

説明は以上です。

市川委員長 何かご発言がありましたら、お願いをいたします。  
どうぞ。

古川委員 すみません。基本的なところかもしれないんですが、この病後児保育は区がしているのでしょうか。

子ども支援課長 はい。

古川委員 ポピンズのほうは、認証保育所で、区で管理しているんですたっけ。

子ども支援課長 ポピンズのほうは、ポピンズに委託をしまして、ポピンズの認証保育所の保育士さんあるいは看護師さんが子どもの安全を見るという形になります。ふじみは、看護師を2名配置しておりますので、そのうち1名が病後児保育を主に担当する看護師ということで、体制のほうを組ませていただいております。

市川委員長 ほかにいかがでしょう。よろしゅうございますか。

(了 承)

市川委員長 それでは、次に参ります。

幼児教育のあり方検討会の報告書についてですね。お願いします。

子ども支援課長 すみません。子ども支援課からもう一点、ご報告をさせていただきます。

「幼児教育のあり方検討会の報告書－最終のまとめ－」のほうをお配りさせていただきました。

中身につきましては、9ページ目まで、こちらまでは以前お示ししております中間のまとめと、「てにをは」を少々直したということで、内容的には変わりはありません。

10ページ目以降なんですけれども、こちらにつきましては、第6回の会議以降、保護者委員の方あるいは学校長、幼稚園長、保育園長を加えた会議の中で出た主な意見を列記をさせていただいて、最終報告としたものになります。

内容といたしましては、それぞれの立場から、どのように子どもたちを育てていけば良いかといったようなことをご発言いただいているということになります。

以上でございます。

市川委員長 10ページ以降が新しい部分だと、そういうことですね。

子ども支援課長 はい。

市川委員長 わかりました。

何かご発言、ありましたら。よろしゅうございますか。  
 (「なし」の声あり)

市川委員長 これ、パブリックコメントにかけるとかなんとかという話はなかったでし  
 たっけ。

子ども支援課長 こちらは教育委員会に報告させていただきまして、その後、パブリックコ  
 メントをいただくように、準備を進めているところでございます。

市川委員長 いつごろ。

次世代育成担当部長 これから詰めますけれども、11月中ぐらいにはやりたいと思っているんで  
 す。また案ができましたら、事前にご意見を伺う形で実施したいと思いま  
 す。また、その節はよろしくお願ひします。

市川委員長 わかりました。  
 そうすると、それが固まってから、その方針なるものを提出するというこ  
 とになるんですか。

次世代育成担当部長 はい。手順といたしましては、報告書をいただきましたので、これをそし  
 やくをした形で、まず学級編制、最低基準のところについてパブリックコメ  
 ントを実施します。その結果を踏まえた形で、最終的な教育委員会として  
 の方針を決めるという形になります。

市川委員長 わかりました。  
 というのですが、よろしゅうございましょうか。  
 (了 承)

## ◎日程第2 その他

### 子ども総務課

#### (1) 孀恋自然体験交流教室の視察日程

市川委員長 そうしますと、本日の定例会で、あらかじめ、次第の議事日程にあった件  
 は終わりましたんですが、課長から何かありますか。

総務係長 よろしいでしょうか。お手元でございます10月13日・14日の孀恋自然体験  
 交流教室の日程についてご案内させていただきます。

まず、10月13日ですけれども、15時04分発のあさま529号で軽井沢に参り  
 ます。委員の皆様におかれましては、新幹線の車中集合とさせていただきます  
 と思いますので、よろしくお願ひいたします。

なお、前日、12日に教育委員会がございまして、そのときに新幹線の切  
 符をお渡しするような予定で考えております。よろしくお願ひしたいと思  
 います。

当日は、メレーズ軽井沢到着後、軽井沢少年自然の家の視察、それから、  
 番町小、富士見小、和泉小各5年生と一緒に夕食をとったり、交流会等々を  
 視察する予定でおります。

翌日14日は、9時にメレーズ軽井沢を出発いたしまして、現地で収穫の状  
 況を視察いたしまして、学校でお世話になっております「大地の会」という

農作物を管理していただいております団体の方と懇談をしていただきまして、終了後、軽井沢に戻り、帰京するというような形でございます。

なお、まだ雑駁な日程でございますが、前日までに詳細な日程等々をご案内させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上でございます。

市川委員長

ほかに、各課長から何かございますか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

市川委員長

教育委員の先生方から何かありますか。よろしゅうございますか。

(「なし」の声あり)

市川委員長

それでは、先ほど日程の最後にいたしました、指導課からの全国学力・学習状況調査、区達成度調査の結果の議事に入りたいと思ひます。暫時休憩いたします。

休憩 午後3時23分

— 再開 —

(以降、秘密会につき、非公開)

— 閉会 —